

マイナカード

受診の際、健康保険証代わりにマイナカードを使用しても、保険加入者のひも付け作業が遅れ、医療機関の窓口で使えないケースが少なくとも40万件以上あることが16日までに分かりました。政府はマイナンバーのひも付けミスの検査を進めていますが、登録の遅れは対象外です。

国内最大の健康保険事業 紙の取扱いに、約4000万筆で中小企業の従業員が加入する「被扶養人」は本

業が終わっていないとしています。

協会けんぽの担当者は「加入者本人に書いてもらつた住所と住民票上の住所

が合わないため、本人と特定できずにマイナンバーを取り寄せることができない事例などがある」と説明します。

また担当者は「被扶養人の間、相次いで発覚し可能であることは明らかです。

使用不能 40万件超

保険情報の登録に遅れ

も同じ事象があつた」とことが今回わかつました。

のべました。紙の健康保険証での受診はまったく問題

政府が描くマイナンバー

カードでの受診の大前提だ

った医療保険の情報とマイ

ナバーのひも付けすらま

厚生労働省保険局国民健康

保険課は「国保について

も)実態把握を含め、対応

府が来年秋に計画する紙の

健康保険証の廃止は、「この

未ひも付け問題の発覚で不

可能であることは明らかで

す。

(内藤真由子、矢野昌弘)